

令和4年度紀美野町立美里中学校スクールプラン

紀美野町学校教育目標

- ・豊かな心を育て、たくましく鍛える。
- ・自ら学び・考えようとする態度を身につけさせる。
- ・郷土の自然や文化、人々とのふれあいを深めさせる。
- ・社会の形成者として個性を発揮できる力を育てる。

保護者・地域の願い

- ・学校での子どもの様子をもっと知りたい。
- ・明るく意欲的に学校生活を送ってほしい。
- ・学校との関わりを深め、子どもを支援していきたい。
- ・保護者や地域が互いに話し合う場がほしい。

【学校教育目標】

**自ら学び、考える、心豊かな活力ある生徒の育成
～聴き合い、学び合うためのコミュニケーション力の伸長～**

【めざす生徒像】

- (1) 自主的で実践力のある生徒
- (2) 豊かな知性・確かな学力をもった生徒
- (3) 自他ともに愛し、社会性のある生徒
- (4) 健康で、明朗活発な生徒
- (5) 道徳的心情を培い、実践する生徒

前年度の学校評価

- 生徒は、明るく意欲的に学校生活を送っている。
- △本校では保護者や地域の方々が情報交換したり、協議したりする機会が設けられている。

生徒の実態

- ・素直で明るく、教師と信頼関係を築けている。
- ・学校行事や生徒会活動にも精一杯取り組んでいる。
- ・コミュニケーションに課題が見られる傾向がある。
- ・保護者や教師に頼ってしまうところがある。

重点目標

わかる授業の展開と協同学習

- ◎学ぶ目的や学び方がわかる授業を実践する。
- ◎考える力、判断する力、伝える力を付け、学び合う自主的な学習の育成を進める。
- 家庭学習や読書の定着・習慣化を図る

思いやりや優しさなど、豊かな心の育成

- ◎コミュニケーション能力の向上に努める。
- ◎家庭・地域との連携のもと、生徒の自己肯定感の向上に努める。
- キャリア教育（道徳教育を含む）の推進を図る。

健康の保持及び体力の向上

- ◎基本的生活習慣の定着と規則正しい生活の推進に努める。
- 学校生活を通して主体的に健康に留意して生活できる生徒を育成する。

具体的な取組

- ・協同学習を取り入れ、生徒が主体となる「主体的・対話的で深い学び（ICT機器の活用等）」型の授業推進を図る。
- ・短学活の時間に、コミュニケーション・トレーニングを実施する。
- ・「美中授業の10の約束」に則った授業規律の確立を図る。
- ・「家庭学習のススメ」を活用し、保護者と協力しながら生活や学習の習慣の定着を図る。
- ・朝読書に加えて、年3回の「家読（うちどく）」週間を実施し家庭読書を推進する。

- ・コミュニケーション・トレーニングや協同学習の継続実施による人間関係づくり。
- ・体育祭や美中フェスティバルなどの学校行事や他校園（このこども園、下神野小学校、野上中学校、和大附属特別支援学校）との交流を活用した集団づくり。
- ・地域共催防災訓練などの美里中学校区コミュニティ・スクールの活動を通して、地域と交流し、地域に貢献する機会を設ける。
- ・全ての教育活動を通じて、自立支援を促すキャリア教育の研究を推進する。

- ・教育活動全般を通じて、自らの健康を管理し、改善していく力を育成する。
- ・早朝トレーニングを実施し、健康の保持及び体力の向上を図る。
- ・インターネット、スマートフォン、SNS等の安全な利用について、指導を促進する。
- ・避難訓練や安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。
- ・地域共催防災訓練等を通して、実践的な防災力を向上を図る。
- ・新型コロナウイルス感染防止に留意した生活を意識し、自律的な生活を送る。

指標

- ・全国や県の学習到達度調査で正答率がそれぞれの平均を上回る。
- ・生徒アンケート「授業はわかりやすく楽しい」の「4」または「3」の回答が90%以上。

- ・生徒アンケート「学校へ行くのが楽しい」の「4」または「3」の回答が90%以上。
- ・いじめの解消率100%。

- ・教職員アンケート「保健・安全の項目」が「A」または「B」の回答が90%以上。

◎：特に重点的に取り組むこと